

## 令和5年度指導教諭による「授業力アップ講座」⑤⑥

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、2つの授業力アップ講座を紹介します。

10月30日(月) 奥州市立水沢小学校  
第3学年 書写：「曲がり」と「反り」

授業者 大坂下 勝江 先生

### 提案授業

授業の導入では、前時に書いた自分の作品を「書写のかぎ」を視点に見直すことから行いました。どこをどう直せばよいのか赤鉛筆で印をつけることで、一人ひとりが自分の課題を明確にすることができました。



縁取りがある「かご字」、中心線のみ「骨字」の練習用紙を使用し、「トン」「ス」「シュッ」といった合言葉を使いながら書き方の原理・原則を確認しました。

授業の最後は、硬筆で書かせ、毛筆で分かったことやできたことを整理しました。

### 研究協議

本単元では、「曲がり」と「反り」の違いを常に比べながら書けるようにしたいという指導者の目指すところが明確であり、単元計画の大切さを参会者で確認しました。また、自己批評や相互批評を行う際には、「視覚(お手本)」での確認と「音(教科書の言葉)」での確認を繰り返すことで、子ども達の豊かな言語活動につなげられることも学びました。

### 👉 大坂下先生の授業から学ぶ

#### 書写の授業のポイント!

- ◆手本の見方(ポイントになる核の部分)を教えること
- ◆入門期は分かり易い「合い言葉」と「リズム」で書かせること

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・リズムがよく楽しい授業であったという間の45分間で、視覚と音の繰り返して正しく書くためのコツをつかむことができました。コツが分かることで子ども達の意欲も高まると勉強になりました。
- ・今日の研修会で、書写の授業に対するイメージが広がりました。授業での指導内容、児童に対する声掛け、習字道具の片付け方、ICT活用と新しく学ぶ事が多くあった有意義な研修会でした。

12月7日(木) 奥州市立水沢中学校  
第1学年 国語：助言を自分の文章に生かそう「作品の書評を書く」

授業者 佐藤 明子 先生

### 提案授業

単元構成において、初めに詩を通して書評とは何かを学び、また様々な物語の導入に着目させることで物語の面白さへの関心を喚起するなど、生徒が学びに向かうための手立てを丁寧に講じていました。学びのプロセスを明確にすることで、学習展開の共通理解を図るとともに、本時の目的である「互いに助言しあうことで書評の質を向上させること」

「友達の助言を踏まえ自分の文章を見直すこと」ができるよう、協働的な学びを適切に生かしていました。



### 研究協議

「書く」ことについての課題意識が共有され、書評を書く力を身に付ける方策や、個人差にどのように対応していくかといった個別最適な学習へ結び付く話題が出されました。また、生徒が本を手に取り、読むことに向かったり、書評をはじめとした、読みから生まれた思いを表出したりするための様々な取組を学ぶことができました。

### 👉 佐藤先生の授業から学ぶ

#### 国語の授業のポイント!

- ◆育成を目指す資質・能力を踏まえ、生徒が学ぶ意味や目的をもてる導入を行うこと
- ◆生徒の実態に応じた支援が書く力を引き出すこと

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・一度書くことで書評がどんなものかイメージさせたり、一つの書評からどう助言したらよいのかみんなで考えを共有させたりすることで理解が深まり、スムーズに学習に入れていると思いました。
- ・助言しあうための手立てがたくさんあって、とても勉強になりました。ワークシートには助言を書きたくない工夫がされていて、自分もやってみたいと思いました。